

青少年奉仕委員会



委員長 柳瀬 治夫

副委員長 塩田 守

ロータリーの「五大奉仕」の第5部門が、「青少年奉仕」です。

もともとは、ロータリーにおいては四大奉仕（クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕）が唱えられ採択されていましたが、社会奉仕部門に属していた「青少年奉仕」が、「新世代奉仕」という呼び方に変更され、一つの独立部門になりました。

2010年の規定審議会で「青少年奉仕」が第5の奉仕部門として加わり「五大奉仕」となりました。このことは、ロータリーが若い世代を重視していることを表しています。それは、青少年が将来出現する課題を克服できるよう、私たちが、ロータリアンとして、青少年への奉仕、青少年の将来に対する奉仕、更に人類全体への奉仕を通じて様々なツールを提供しようと努力することです。

わがクラブでも、「新世代活動委員会」が、2014年から「青少年奉仕委員会」となりました。

標準ロータリー定款によれば、「奉仕の第5部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。」とされています。

すなわち、青少年や若者たちとの活動を行い、次世代のリーダー、時代の先駆者、平和構築者を育成しようということです。

なお、当クラブでは、これまで社会奉仕委員会により、骨髓バンク「命の授業」に取り組んできましたが、高嶋由昌会長のもとでは、同委員会の負担軽減の趣旨もあり、当委員会が担当することになりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。